

予 算 要 求 資 料

令和 8 年度当初予算

支出科目 款：警察費 項：警察活動費 目：刑事警察費

事業名 暗号資産追跡ツール整備費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

警察本部 刑事部 分析戦略課 電話番号：058-271-2424(内4911)

E-mail：c18873@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 10,959 千円 (前年度予算額： 13,232 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	13,232	0	0	0	0	0	0	0	13,232
要求額	10,959	0	0	0	0	0	0	0	10,959
決定額	10,959	0	0	0	0	0	0	0	10,959

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

近年、暗号資産の流通により、暗号資産を悪用した犯罪が増加傾向にある一方、その追跡捜査は手作業では実質的に不可能な状態にある。暗号資産を早期に追跡することで、犯行に使用された暗号資産アカウントの早期凍結による被害財産の保護、被疑者の早期検挙及び犯罪組織の資金源の封圧が可能となるため、今後、警察の責務を果たしていく上で、暗号資産追跡ツールは必要不可欠となる。

(2) 事業内容

暗号資産追跡ツールの導入(単年契約)

(3) 県負担・補助率の考え方

県警職員が利用するもので、岐阜県民の安全・安心を目的とした捜査のためのシステムであり県負担が妥当である。

(4) 類似事業の有無

無し

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
使用料及び賃借料	10,854	暗号資産追跡ツール、ウイルス対策ソフト
役務費	105	暗号資産追跡ツール回線料
合計	10,959	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

(1) 各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ」創生総合戦略
Ⅱ - 2-(2)-⑤ 犯罪・交通事故防止の推進

(2) 後年度の財政負担

単年度契約であることから、後年度も継続的に契約していく見込みであり、ライセンス料等（10,959千円）と同等金額を負担していくこととなる。

(3) 国・他県の状況

他県警察：複数の県警が導入済み、若しくは導入予定
他の官公庁：警察庁等

(4) 事業主体及びその妥当性

事業主体：岐阜県警察
妥当性：岐阜県警察職員が利用するものであり妥当

事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

令和8年度も引き続き暗号資産追跡ツールを導入し、悪用される暗号資産に対して追跡捜査を実施し、適切に対応していく。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R12)	達成率
暗号資産の追跡・ 分析実績数			200	400	400	

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	
	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %
令和5年度	
	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %
令和6年度	
	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない

(評価)

・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

3 : 期待以上の成果あり
2 : 期待どおりの成果あり
1 : 期待どおりの成果が得られていない
0 : ほとんど成果が得られていない

(評価)

・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている

(評価)

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

暗号資産追跡ツールの追跡及び分析方法等についての研修を実施する必要がある。

(次年度の方角性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

今後も暗号資産を利用した犯罪は増加傾向にあると見込まれることから、県民の財産を守るためにも継続すべき事業と認められる。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント
又は事業名及び所管課
組み合わせる理由
や期待する効果 など